

未来の自分から、いまの防災を考える。

「ぼうさいオオギリ」

「防災は大切」。なぜ行動に移せない？

未来の自分なら、いま何をする？

開催日

2026年 10月 17日 土

時間

14:30~

場所

鳥取県立美術館

このワークショップで体験できること

- ✓ 防災行動を妨げる理由を考える
- ✓ 未来の自分の視点から考え直す
- ✓ グループで気づきを共有する

ぼうさいオオギリとは？



「備える」などの防災行動について、「できない/したくない理由」を考え、相手に行動を促す伝え方や工夫をグループで考えるワークショップです

将来の災害を自分事として考えるため、「未来の自分」の視点を取り入れます
その考え方の背景にあるのが、将来可能性教育です

将来可能性教育とは？



今の自分に少し負担があっても、未来の人や社会のためになるなら、その選択や行動に価値を感じられる人の性質を「将来可能性」といいます

この性質を引き出し、未来を考えた意思決定へとつなげる学びが、将来可能性教育です

現在の自分の立場で考える

「備える」などの防災行動について、
「できない/したくない理由」を考え、
相手に行動を促す説得を考えます



未来の自分の立場で考え直す

将来世代(未来の自分)になりきって、
防災行動について考え直し、
未来の視点から説得を考えます



「未来の視点で考え直す」学びは、さまざまな場で実践されています

将来可能性教育の実践例



大阪・関西万博

全国の来場者へVRを通して、
未来を見据えて考える体験を発信



オープンキャンパス

高校生・保護者などに
大学の学びを体験してもらう



高校生向けワークショップ

高校と連携し、
未来を考える力を育む



自治体政策カードゲーム

将来の地域を想像しながら
必要な施策を選び話し合う実践を展開



研究・社会発信の広がり

大学での研究が、教育実践・社会実装・外部評価へと発展しています
工学教育賞・文部科学大臣表彰などでも高く評価されています

大阪大学×予防団で広げる防災の学び



大学の研究知見と予防団の現場ノウハウを組み合わせ、
防災を身近な学びへ

- ・大阪大学の研究成果を、子ども向けの教材やプログラムに展開
- ・予防団のネットワークを活かし、学校・地域に実践を届ける
- ・フィードバックを研究に還元し、よりよい学びを継続的に開発